年金額が大幅に増額
今後の受給はウンと有利に

法律が改正されて「福祉年金」が、この10月から大幅に引き上げられました。

また「拠出年金」は、年金額が調整されて、9月分からもらえる年金額が、ウンと増やされます。

国民年金は、年金の値うちが下がらないように、物価や生活水準の変動に応じて改善されることが、法律で定められています。

ちょっと下の表を見てください。福祉年金は、10月分から平均62.3%もアップすることになりました。当市での福祉年金受給者は、2,743人（9月末現在）、このうちの約88%に当たる人たちが老齢福祉年金受給者です。今までの年額で9万円（月 7,500円）が、今度の改正で 144,000円（月 12,000円）に引き上げられたものです。

一方、拠出年金（保険料をかけて受ける年金）は、物価の上昇などによる調整が行われたもので、下の表のように5年年金の〝10月から〟を除いて、9月分から増額されます。

当市での拠出年金は、1,500余人の受給者のうち、老齢、5年、障害の各年金がベストスリー。平均で、なんと82%もの増額となりました。

このたびの改正では、このほか保険料の納付期間の短い人に、特別に支給される有期の老齢年金も、これまで70歳から老齢福祉年金にかわったものが、こんど終身「老齢年金」として支給される改善も行われました。

また保険料については、あとしばらくは今までどおりの月 1,100円ですが、来年の4月から300円引き上げられて月1,400円になります（付加保険料の月 400円はそのまま変わりません）。

なお、増額された年金があなたのお手元に届くのは—

- 福祉年金……51年1月
- 拠出年金……50年12月（老齢年金は50年11月）

——です。

主婦と恩給

中野 安積 堯江

国民年金委員をおおせつかったのが十年前、当時は任意加入ができる拠出年金が始まったばかりでした。加入を勧めに訪問したとき〝主婦の恩給みたいなもの〟と説明したことを覚えています。

「月二百五十円で私たちも恩給がもらえる制度ができたのなら、ぜひ加入したいワ」と、友だちや近所の奥さま方が訪ねてこられたものでした。ところが今では、シッカリと生活設計に結びついた〝年金〟となりました。年金と生命保険の掛け金とが感違いされていた時代は終わったのだと、当時をふりかえっています。

ところでひと言申し上げたいのです。お勧めをやめられてから、国民年金への手続きをしないで、そのまま放置している方、回って歩いてこんな方が案外多いのにびっくりしています。わからないのか、忘れているのか、それとも書類などがなくなったのか…。市内には年金委員さんもたくさんおられます。ぜひ相談なさってくださいネ。

（国民年金委員）

福祉年金の増額（50・10から）

単位：円

種別		改正前	改正後
老齢		90,000	144,000
障害	1級	135,600	216,000
	2級	90,000	144,000
母子、準母子		117,600	187,200
老齢特別給付金		66,000	108,000

拠出年金の増額（50・9から）

（保険料を納めて受ける年金）

単位：円

種別			改正前	改正後
老齢	高齢者	10年	174,150	212,250
		5年	111,456	135,840
	25年納付		278,640	339,600
	付加25年納付		338,640	399,600
障害		1級	348,300	424,500
		2級	278,640	339,600
母子、準母子 遺児		子1人	278,640	339,600
		子2人	288,240	349,200
有期年金の最低保障			90,000	144,000（50.10から）

お買物、ご用命は市内で

駅 本町通 至新潟 仏壇屋 理髪店 駐車場 丸福
電話 担保貸付
○電話使用のまま保証人なしで即融
○その他公社、公務員月賦返済、保証人不要
丸福質舗
本町2丁目 ☎(3)0331

ひかってるぁ、あのこ。
"75" 秋の口紅
資生堂スプレンス
本町2丁目 マツヤ TEL (2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり

国民年金くらしに生きて

〝年金〟——わが国には国民年金や厚生年金など、八種類の制度ができていて、職業によって、あるいは年齢によって、どれかの年金制度に加入しなければならないことになっています。

中でも、全国で二千五百万人以上と最も大ぜいの人たちが加入しているのが「国民年金」制度です。この国民年金制度は、昭和三十四年にできてから今年で十六年になりました。

よく知って…心のささえに

まず、国民年金のあらましから簡単にご紹介してみましょう。

国民年金は、厚生年金や共済組合などに入っていない二十歳から五十九歳までの人が必ず加入しなければならない年金です。農業、商業、自由業などといった人たちですが〝将来は夫婦ともに年金を〟ということであれば、サラリーマンの奥さんも、希望することによって加入できます。

国民年金には、老齢（通算老齢）、障害・母子（準母子）、遺児・か婦の各年金のほかに死亡一時金などの種類があります。これらは「拠出年金」といって、保険料を掛けて受ける年金です。もう一つ「福祉年金」というのがありますが、これは、国民年金制度ができた当時、すでに七十歳以上になっていた人たちなどに支給されている年金です。

市内には、これらの年金（拠出・福祉）を受けている人たちが四千二百五十余人いて、年間およそ五億八千五百万円近いお金が〝年金〟として支払われています。

一方、加入者が納めている保険料額はというと、年間に（四十九年度）一億四千万円ほどになっています。つまり保険料として納められている四倍以上もの額が、年金として、加入者の生活保障の大きな手助けをしています。

当市では、一万二千七百人の人たちが国民年金に入っていて、このうちの三三%に当たる四千二百五十余人が、すでに年金を受け、喜んでおられます。

今月は「国民年金普及推進月間」です。年をとってからのまた万一の事故などがあった場合の大きな手助けとなっている国民年金を、もっとよく知って、さらにみんなで喜びあえる年金とするために、今号にいろいろととりあげてみました。

物価の変動に年金額も改善

だれだって、年金を多くもらえるのに越したことはありませんが、この点、国民年金制度は、個人の貯蓄や民間の年金と比較して、いろいろと有利な点があります。

まず、経済の発展や生活水準の上昇に応じて、もらえる年金の額も高くなっていくことです。また、消費者物価が上昇した場合には、それに合わせて年金額も改善されていくことになっています。

このことは、ハッキリと法律に決められていますから、現在の年金額では「将来の役に立たないのではないか…」というような心配はまったくありません。

例えば、保険料を二十五年間納めた場合の老齢年金を例にとってみると、昭和三十六年には二万四千円（月額二千円）だったものが、四十四年の法律改正で九万六千円（月額八千円）になり、さらに今年の改正では、三十三万九千六百円（月額二万八千三百円）となって、当初から何んと十四倍にも増えました。

このように国民年金は、加入者に有利なように、年々内容の改善がはかられています。

お買物、ご用命は市内で

全国菓子大博覧会有功大賞受賞!!
秋葉山・平和塔最中・祝儀・仏式・お菓子
お菓子司 羽二
新津市本町一丁目 農協前 TEL (2) 0462

セーラー・プラチナ・パイロット万年筆会員店
資生堂チェインストアー
(株) 藤井本店
新津市本町2 TEL? 0455